amadana

amadana 電動アシスト自転車

BE-143

取扱説明書

（兼保証書）

このたびは電動アシスト自転車をお買い上げいただき、ありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後はいつでも取り出せるところに保証書とともに大切に保管してください。

ご使用にあたってのご注意

電動アシスト自転車には運転免許証は不要ですが、普通の自転車とは異なる部分があります。安全、快適にお乗りいただくため、ご使用前にはこの取扱説明書を必ずお読みください。この取扱説明書と保証書は紛失しないよう大切に保管してください。電動アシスト自転車を他人に譲る場合は、次のお客さまのためにこの取扱説明書もお渡しください。

お願い

- この自転車は、散歩、買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- 安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- 万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）

この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This bicycle is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other countries.

この商品にはリチウム電池を使用しています。リチウム電池のリサイクルにご協力ください。

- 商品の仕様、その他の変更により、この取扱説明書の内容やイラストと実車が異なる場合がありますがご了承ください。

INDEX（目次）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1

■ 安全上のご注意（自転車）・・・・・・・・・・・・・・・P2〜5

■ 安全上のご注意（バッテリー、充電器）・・・・・P6〜7

■ 電動アシスト自転車について・・・・・・・・・・・・P8

■ 各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9

■ 部品取付方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10

■ お乗りになる前に・・・・・・・・・・・・・・・・ P11〜13

■ 乗りかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14〜16

■ 停止、駐輪のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16

■ 充電のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17〜18

■ バッテリーについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19

■ お手入れと保管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19

■ 故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・・・・P20〜22

■ 防犯登録について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P23

■ 仕 様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P24

保 証 書

■ 安全上のご注意（自転車）

※ご使用の前に必ず、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の３種類に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 危険　人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容。

⚠ 警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意　人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

絵表示の例

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告

改造はしないでください。また、モーターユニット、クランクセンサ（ペダルアシストシステム）の分解や注油もしないでください。
部品が損傷したり外れて、転倒によるケガのおそれがあります。修理や部品の組み付けは販売店にご相談ください。また、補助輪も取り付けないでください。

分解禁止

サドルやハンドルの引き上げ限界線が見える状態では乗らないでください。
サドルやハンドルの折れや抜けにより衝突や転倒によるケガのおそれがあります。

禁止

走行中に手や足で前照灯の照射角度を調整しないでください。
前方不注意となり、衝突や転倒したり手足・靴などが車輪に巻き込まれ、ケガをするおそれがあります。停車した状態で前照灯の角度を調整してください。

禁止

異常がある場合は乗らないでください。
異常があるまま走行すると事故や転倒によるケガのおそれがあります。異常を発見したら販売店にご相談ください。変形したりひび割れ等した部品は必ず交換してください。

禁止

荷物を手やハンドルに引っかけたり、ペットをつないで乗らないでください。
荷物が車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し転倒によるケガのおそれがあります。荷物はフロントバスケットに積んでください。

禁止

かさやステッキ、釣りざおなどを下げたり、差し込んだりして乗らないでください。また、スポークの間にボールなどを挟まないでください。
車輪がロックして転倒するおそれがあります。
※安全のため車輪にはドレスガードの使用をお奨めします。

禁止

滑りやすいところ（積雪、凍結した道、鉄板の上やぬかるみなど）で乗らないでください。風の強いときも乗らないでください。
前輪や後輪がスリップして、転倒によるケガのおそれがあります。自転車から降りて、押して歩いてください。

禁止

⚠ 警　告

二人以上で乗らないでください。ハブステップに乗るのも大変危険です。
転倒や落車によるケガのおそれがあります。

禁止

下り坂や雨の日、ぬれた路面ではスピードを出しすぎないでください。
スリップしたり、ブレーキの性能が低下し制動距離が長くなり、転倒によるケガのおそれがあります。

禁止

車輪の着脱後や、サドルとハンドルの調整後は、締め付けを確認してから乗ってください。
車輪やサドル、ハンドルが外れて転倒しケガをするおそれがあります。調整後は必ず、乗る前に確認してください。

禁止

凹凸の激しいところ（歩道の段差や溝など）で乗らないでください。
フレームの損傷や車輪の損傷（パンク含む）が生じたり、転倒によるケガのおそれがあります。自転車から降りて、押して歩いてください。

禁止

乱暴な運転やアクロバット的な運転をしないでください。
フレームや車輪が損傷したり、転倒や落車によるケガのおそれがあります。

禁止

前ブレーキだけのブレーキ操作はしないでください。
転倒によるケガのおそれがあります。

禁止

組立て前の自転車や未調整の自転車に乗らないでください。
通常の運転ができず転倒や衝突によるケガのおそれがあります。

禁止

前後ブレーキ動作やハンドル・車輪の固定、タイヤの空気圧などの乗車前点検を行ってください。
ブレーキ動作の異常や各部のゆるみがあれば転倒によるケガのおそれがあります。また、タイヤの空気圧が適正でないと、パンクしたりリムが破損し転倒によるケガのおそれがあります。

強制

傘をさして乗ったり、片手運転や手放し運転で乗らないでください。また、携帯電話を使用しながら乗らないでください。
バランスがとりにくくなり転倒によるケガのおそれがあります。雨の日はカッパなどの雨具を着用してください。

禁止

雷が鳴り出したら、すみやかに落雷を回避できる場所へ避難してください。
落雷により感電するおそれがあります。

強制

自転車用ヘルメットを着用してください。
ヘルメットは頭部の保護のために有効です。幼児を同乗させる場合も、必ず自転車用ヘルメットを着用させてください。

強制

飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調が悪いときは乗らないでください。
衝突や転倒によるケガのおそれがあります。

禁止

滑りやすい靴や、かかとの高い靴などをはいて乗らないでください。
足がペダルから外れ、転倒によるケガのおそれがあります。

禁止

巻き込まれやすい服装で乗らないでください。
スラックスやスカートの裾、マフラーなどが車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるケガのおそれがあります。
※ズボンクリップの使用をお奨めします。

禁止

使用開始後2ヶ月以内に販売店で、自転車安全整備士や自転車技師またはそれと同等の技能を有する者により点検を受けてください。
お買い上げ2ヶ月位のご使用で各部のネジがゆるむことがあります。

強制

カーブを曲がる側のペダルを下げないでください。
ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。また、スピードを出したまま急カーブを曲がらないでください。スリップや転倒によるケガのおそれがあります。

禁止

■ 安全上のご注意（自転車）

⚠ 警　告

回転している部分（車輪、チェーンなど）には手や足、物を近づけないでください。
巻き込みや転倒によるケガのおそれがあります。

スピードを出し過ぎて、急ハンドルしたり急カーブを曲がらないでください。
スリップや転倒によるケガのおそれがあります。

自動車の横を走行するときは安全を確認してください。
駐車や、停車中の車が急にドアを開けたり、車の陰から人や動物が出てくることがあり、事故のおそれがあります。

サークル錠を外すとき、キーを回すと自動的にノブが元の位置に戻りますので注意してください。
手や指をつめてケガをするおそれがあります。

走行中は電源スイッチやアシストモード切替スイッチ、LEDライトスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり、衝突や転倒によるケガのおそれがあります。必ず停車した状態で操作してください。

水洗いはしないでください。
浸水によって電気部品および配線の絶縁が劣化し、漏電など故障の原因になります。

視界が悪いとき（夜間やトンネル内や霧など）は、無灯火で乗らないでください。
見通しが悪くなり、衝突や転倒によるケガのおそれがあります。また、第三者から見えにくくなり危険です。前照灯が点かないときやリフレクタが破損したり汚れている場合は、押して歩いてください。

自転車の走行以外の目的（腰かけや踏み台の代わりなど）では使用しないでください。
転倒によるケガのおそれがあります。また、スタンドを立てたままでペダルを強く踏み込まないでください。車輪駆動の特性で発進しようとする場合があります。

ブレーキシュー、タイヤ、リムには注油しないでください。
ブレーキが効かなくなり、衝突によるケガのおそれがあります。

荷物を載せるときは積載条件を守ってください。
自転車の故障や、バランスを崩し転倒によるケガのおそれがあります。
●フロントバスケット
※最大積載量：3kg
※荷物の大きさ
　フロントバスケットから荷物がはみ出さないこと。
●リアキャリア
※最大積載量：リアキャリア合わせて25kg
※荷物の大きさ
　長さ：キャリア長さ＋10cm
　幅：キャリア幅＋左右10cm
　高さ：40cmまで
※区分：クラス25

⚠ 警　告

けり乗りはしないでください。
転倒や接触事故によるけがのおそれがあります。必ずサドルにまたがってから発進してください。

停車しているときは、前後輪ブレーキをかける。その際、ペダルに足を乗せない。
不用意にペダルに足を乗せたときなど、。アシストが作動する場合があります。停車しているときは、前後輪ブレーキをかけ、ペダルに足を乗せないでください。

1年ごとに販売店で自転車安全整備士、自転車技師またはそれと同等の技能を有する者により点検を受けてください。異常を感じたときはすぐ点検を受けてください。また部品の交換は、下記の目安で行ってください。
ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。
●ブレーキワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換してください。
●ブレーキレバーの遊びが大きいものはすぐに販売店で点検してください。ブレーキがきかないおそれがあり危険です。
●チェーンのたるみが大きいものはすぐに販売店で調整をしてください。走行時にチェーンが外れるおそれがあり危険です。
●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換してください。
●ブレーキゴムは、溝の残りが1mmになる前に交換してください。

走行中は、残量表示ランプ等を注視しないでください。
表示に気をとられ、前方不注意となり、衝突や転倒によるケガのおそれがあります。

走行中に異音が発生したり、自転車が転倒したり、水に浸かってしまったなどの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店で点検・整備を行ってください。
そのまま使用を続けると事故や故障の原因になります。

電動アシスト自転車の発進特性に不慣れなうちは、車通りや人通りの多い一般道で乗らない。
●電動アシスト自転車は普通の自転車より軽いペダル踏力で発進できますが、慣れないうちに普通自転車と同じ感覚でペダルを強く踏み込むと、普通自転車以上に加速するため、驚いて転倒したり衝突したりするおそれがあります。
●慣れるまでは安全な場所でよく練習しましょう。
●慣れるまでは標準モード（エコモード）でスタートしましょう。
●無理な走行（スピードの出しすぎ、急坂の走行）をしないでください。年齢や体力に合わせた走行をしましょう。

バッテリーを本体からはずすときや、持ち運びをするときは、バッテリーハンドルを持ってください。
バッテリーはかなりの重さがありますのでバッテリーが落ちて、足などにケガをするおそれがあります。

■ 安全上のご注意（バッテリー、充電器）

⚠ 危　険

バッテリーを火中に入れたり、加熱したりしないでください。
液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

バッテリーの端子間を金属などで接触させないでください。
感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

バッテリーの分解・改造はしないでください。
感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

専用のバッテリーですので、他の機種やその他の用途には使用しないでください。
液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

バッテリーを充電する場合は専用の充電器を使用してください。
他の充電器を使用すると発火、異常発熱、故障のおそれがあります。

充電器のケース、コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

⚠ 警　告

バッテリーを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
ケースの破損、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

バッテリーに水や海水をかけたり、水中に入れないでください。
ショートや異常発熱で使用できなくなります。雨にぬれたときは、そのまま放置せずに、乾いた布で水滴をふき取ってください。

充電器の分解・改造はしないでください。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

浴室など湿気の多いところや、屋外で雨にぬれるところなどでは充電しないでください。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

充電器は専用電池（バッテリー）以外の充電には使用しないでください。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりたばねたりしないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
コードが破損し、感電、火災原因になります。

電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。
感電することがあります。

⚠ 警　告

幼児の手の届くところでは充電しないでください。
感電やケガの原因になります。

バッテリーケースやバッテリーハンドルが破損したバッテリーは、使用しないでください。
液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

充電器を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。また、フロントバスケットに積んだまま走行しないでください。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

バッテリーを閉めきった倉庫や自動車内など、高温になる場所に保管したり長時間放置しないでください。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。
感電、異常発熱、火災のおそれがあります。

⚠ 注　意

充電中は、身体の同じ箇所を充電器に長時間ふれさせないでください。
ケースの温度が40℃～60℃になる場合があり、低温火傷のおそれがあります。

充電しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。
感電、ショート、発火の原因になります。

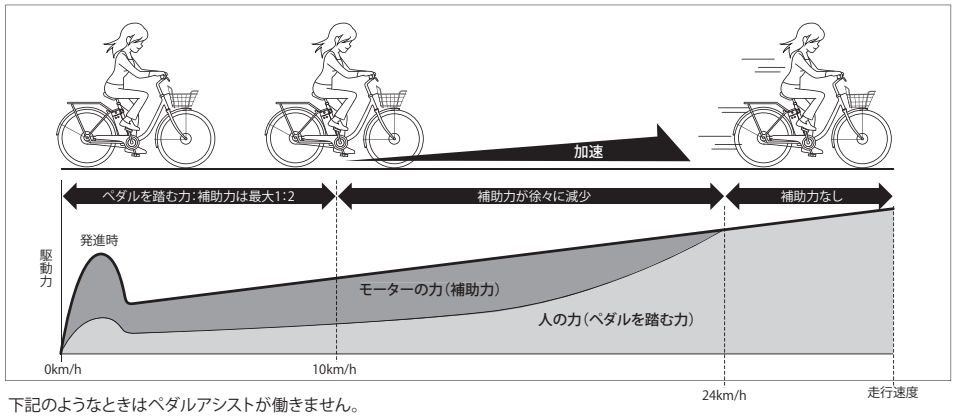
電源プラグにゴミや土、油が付着しないように注意してください。
感電や発火のおそれがあります。

■ 電動アシスト自転車について

電動自転車は普通の自転車とは違った、ペダルアシスト付きの自転車です。電動自転車についての正しい知識を身につけましょう。

ペダルアシストとは

人がペダルを踏む力に応じて、モーターの補助力を加え走行を助ける機能です。



下記のようなときはペダルアシストが働きません。

●速度が24km/h以上のとき

※速度が24km/h以下でも平地などのペダルの負荷が少ない道路では、ペダルアシストが働かない場合があります。

●ペダルの回転を止めているとき

●バッテリー残量がなくなったとき

※バッテリー残量がなくなるとペダルアシストは働きませんが、普通の自転車として走行できます。

●ブレーキをかけているとき

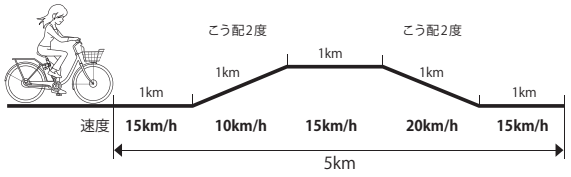
※安全上に、前後ブレーキにモーター電源安全スイッチを付けられているため、ブレーキをかけると、電源offになり、離すとonになります。

走行できる距離の目安

走行条件
（走行パターン：エコの場合 アシストランプが消灯の表示）

走行できる距離
（1回の充電）

下図の条件で走行した場合



条件：バッテリー新品、温度20℃、無風状態、前照灯消灯、車載質量60kg（乗員および荷物を合計した質量）、タイヤ側面に記載の空気圧

走行距離の目安対照表

バッテリー容量	走行距離（エコモードの場合）
8.8Ah	**約45km**

※停止せず連続走行の場合

※走りかた、道路状況、気候などにより1回の充電で走行できる距離は異なります。特に整備状態（タイヤの空気圧など）、積載質量の増加や上り坂が多い場合は、走行できる距離が短くなります。

※バッテリーの特性上、冬期は走行できる距離が短くなります。

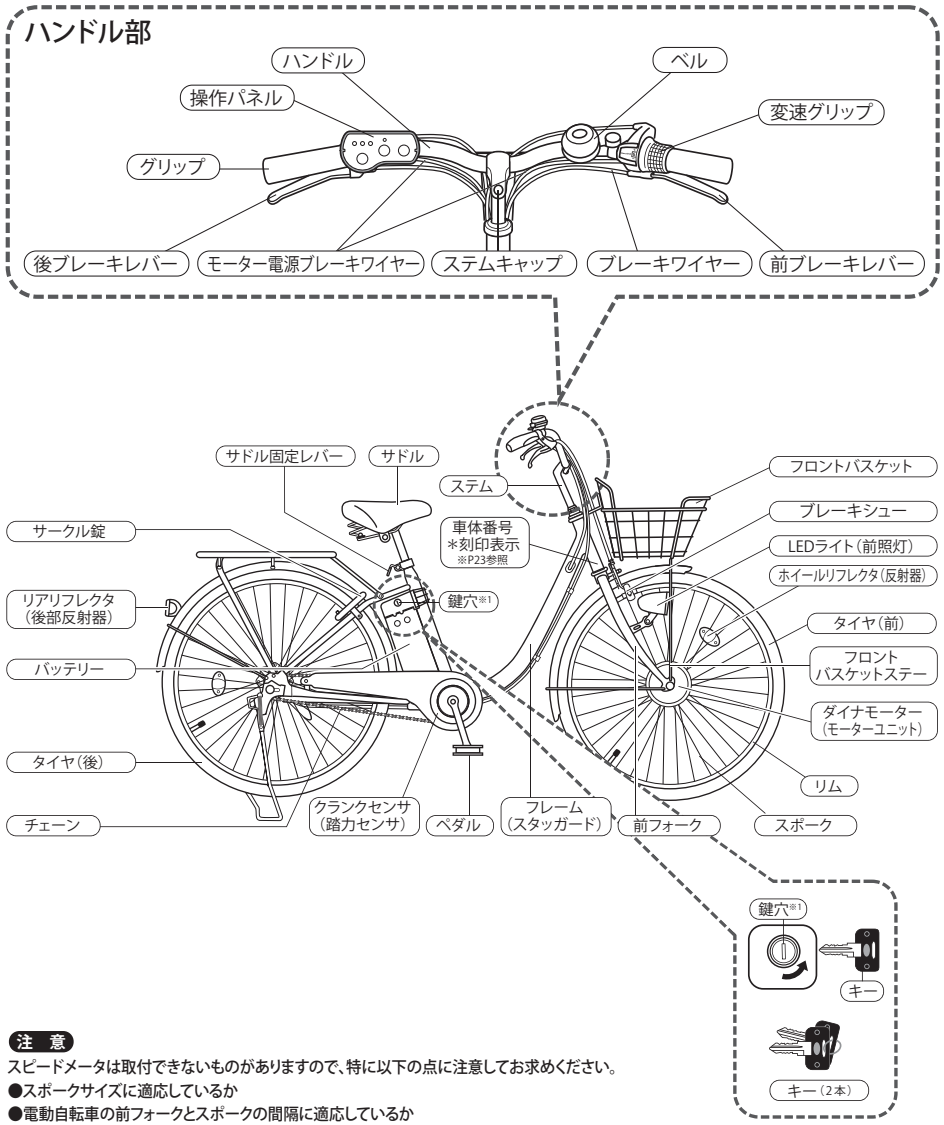
※バッテリーの特性上、充電回数の増加に従い、1回の充電で走行できる距離が短くなります。

※走行距離はあくまでも目安で、1回の充電による走行距離を保証するものではありません。

ペダルアシストのしくみ

人がペダルを踏む力を「クランクセンサー」が検出し、コントローラーに入力します。コントローラーのマイコンがトルクデータと、あらかじめ記憶しているモーター特性のデータから必要なモーター出力を算出して信号を送り、モーターが補助力を発生させるしくみです。

■ 各部のなまえ



注 意

スピードメータは取付できないものがありますので、特に以下の点に注意してお求めください。

●スポークサイズに適応しているか

●電動自転車の前フォークとスポークの間隔に適応しているか

■ 部品取付方法

ペダルの準備

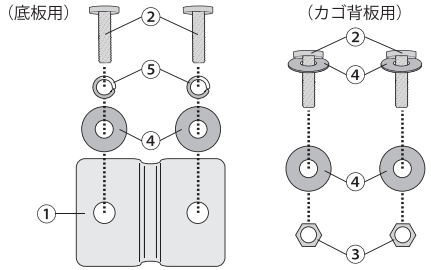
ペダルは折りたたみ式です。下記の図の手順で組みたててください。

…可動する部品

注意：組み立て時に、手を挟まないように気をつけて作業してください。

前カゴ取付部品一覧

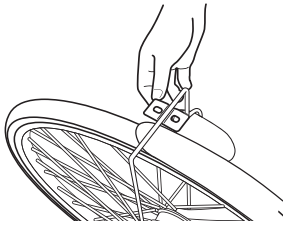
- ①底板……1個
- ②ネジ……長ネジ4本
- ③ナット……2個
- ④ワッシャー……6個
- ⑤スプリングワッシャー（底板用）……2個



前カゴ取付け手順

①底板の取付け方

付属品の底板をカゴ足の下側に添え、カゴと底板でカゴ脚をはさみこみます。長ネジ（2ヶ所）をカゴの内側から底板の穴に挿入し、仮止めします。



②背面部の取付け方

左ハンドルから出ているワイヤー類と右ハンドルから出ているワイヤー類はカゴブラケットの上部で交差させた状態を確認してから、前カゴを取り付けてください。ネジをカゴ背板の内側から通し、ブラケットの穴へ長ネジを通します。反対側からナットをつけ、仮止めします。

③カゴ位置を調整し本締め

底部、背面部の仮止め終了後、カゴの位置とカゴ脚の位置を調整し、本締めしていきます。本締めの際、ナットが一緒に回りますので外側から付属スパナを使用し、ナットを固定します。内側からドライバーを使用し、ネジを締めていきます。本締めが終われば、取付完了です。

※ドライバーは付属しておりません。

■ お乗りになる前に

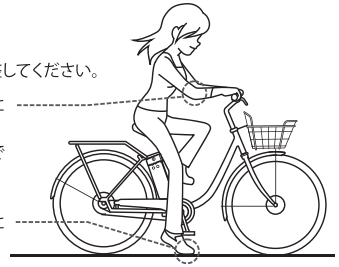
正しい姿勢で乗りましょう

安全に乗車していただくため、右図のような姿勢になる位置にハンドルとサドルを調整してください。

適応身長の目安
145cm 以上

ハンドルの高さはヒジが軽く曲がる程度に調整してください。
＊ハンドルの高さはお買い上げの販売店で調整してもらってください。

サドルの高さは両足先が地面につくように調整してください。



ハンドルの調整

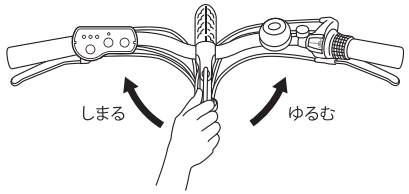
①６角レンチでステムの引き上げ棒を緩めます。（付属品）

注 意

ボルトを緩めすぎるとウスが引き上げ棒から外れてしまうので緩めすぎないこと。

②ハンドルが前タイヤに対し、90°(直角）にし、ボルトを固く締めます。

③ステムキャップを取付けます。



サドルの高さ調整

①サドル固定レバーを約2〜3回転ゆるめます。

注 意

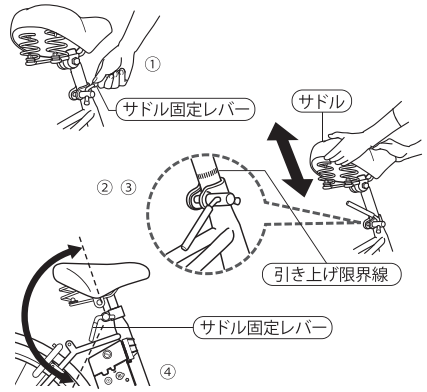
サドル固定レバーを充分にゆるめずに高さ調節を行うと、シートポストを傷付けることがあります。

②サドルを上下に動かして高さを調整し、サドルを持ってサドル固定レバーを締め付けます。

⚠ 警 告 引き上げ限界線以上に引き上げないでください。

③サドルを上下左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。

④締め付け後、サドル固定レバーが右図の範囲内の位置になるように収納してください。



正しい姿勢で乗りましょう

動きやすく運転しやすい服装で、自転車に乗ってください。

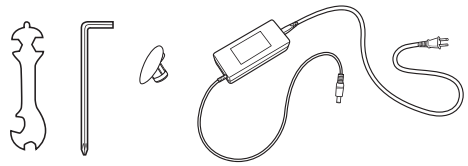
アドバイス

裾の広いズボンはズボンバンドで止めて、巻き込み、汚れを防止してください。

付属品の確認

自転車本体の他に下記のものがすべて含まれていることをご確認ください。

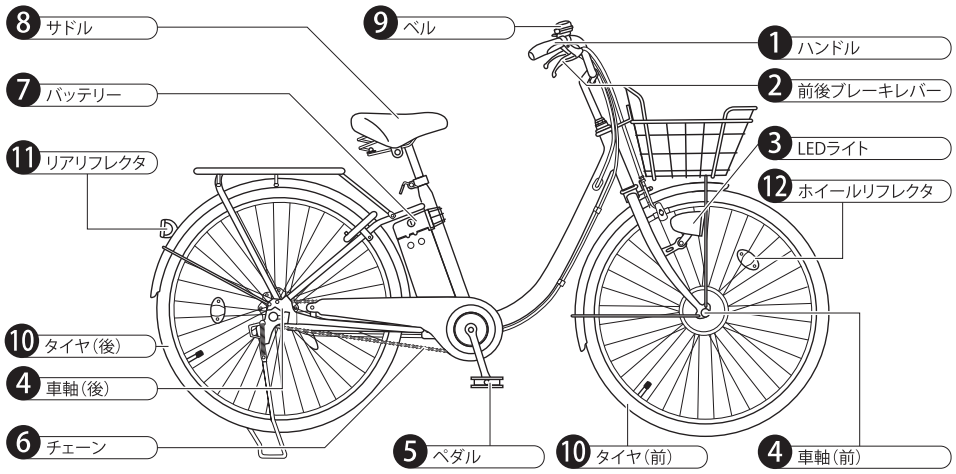
- ●取扱説明書兼保証書（本書）
- ●簡易工具、ステムキャップ
- ●充電器（品番：SSLC058V29A）



■ お乗りになる前に

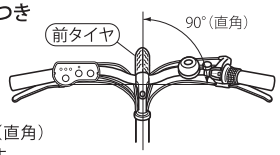
乗車前の点検

安全に乗車していただくため、乗車前に下記の点検を実施する習慣をつけましょう。



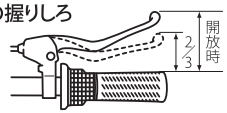
❶ ハンドルのがたつき

ハンドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検しましょう。また、ハンドルが前タイヤに対し90°(直角)になっているか点検します。



❷ 前後ブレーキレバーの握りしろ

ブレーキレバーが開放時の約2/3の位置でブレーキが効きはじめることを点検します。



❸ LEDライトの点灯

汚れや損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換してください。LEDライトが点灯するか点検します。

❹ 前後車軸の固定状態

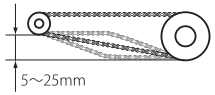
タイヤをゆすり、車軸にがたつきがないか点検します。

❺ ペダルのがたつき

ペダルをゆすり、がたつきがないか点検します。

❻ チェーンの張り具合

チェーンの中央部を持って上下に動かし、その差が5～25mmあれば適正です。



❼ バッテリーの取付状態

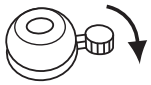
確実に取り付けられていることを点検します。

❽ サドルのがたつき

サドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検します。

❾ ベルの鳴り具合

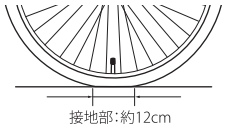
ベルのノブを指ではじいてベルが鳴るか点検します。



❿ 前後タイヤの空気圧、摩耗、損傷

自転車に乗車したとき、タイヤの接地部の長さが約12cmになれば適正です。また、摩耗していないかタイヤに釘などがささっていないか点検します。空気圧が減少しているとアシスト走行距離に大きく影響します。

標準空気圧
タイヤ側面に記載



⓫ ⓬ ホイールリフレクタ、リアリフレクタの汚れ、損傷

汚れ、損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換してください。

点検で異常があった場合や転倒して異常があった場合は、乗車をやめてお買い上げの販売店にご相談ください。

交通ルールを守りましょう

道路を走るときに必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。

●見通しの悪い交差点や、狭い道から広い道に出るときは、一時停止して左右の安全を確認してください。

●子供の飛び出しに注意
公園や学校のあるところでは子供の飛び出しに十分注意してください。

●視界の悪いとき
必ず前照灯をつけてください。また、前照灯は早めにつけてください。

●停止するとき
右腕を斜め下に出して停止してください。

●左折するとき
右腕のひじを直角にあげ、速度を落としてて曲がってください。

●交差点では左に曲がる車に注意
左に曲がる車のすぐ横は、巻き込まれるおそれがありますので十分注意してください。

●車道の左側を必ず一列で走行してください。

●信号機のない交差点で右折するとき
右腕を水平にし手のひらを下にして、向こう側まで進んでから右折してください。

●歩道を通行できるところでは
歩行者優先で、車道寄りを徐行してください。

●車のすぐ横を走るとき
急にドアが開いたり、車の陰から人が出てくることがありますので十分注意してください。

●車のすぐ後ろを走るとき
前方が見えにくかったり、車が急に止まったり、曲がったりすることがありますので十分注意してください。安全な距離を保ってください。

●踏切では
一時停止して左右の安全を確認してください。

道路標識を守りましょう

一時停止

自転車通行止め

通行止

横断歩道

自転車および歩行者専用

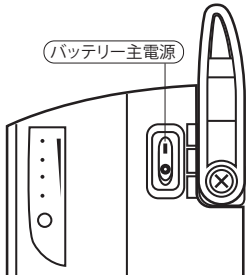
自転車専用

自転車横断地帯

(路面標示)

■ 乗りかた

発進のしかた



1 バッテリーの主電源をON『I』に入れてください。

2 スタンドを上げてサドルにまたがります。

ロックレバーを後方に押し上げてから、スタンドを上げてください。

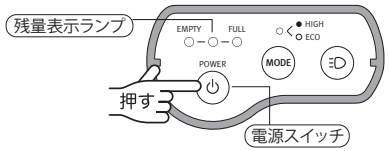
⚠ 警　告

けり乗りはしないでください。転倒や接触事故によるケガのおそれがあります。必ずサドルにまたがってから発進してください。

※けり乗りとは
片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗りかた。

3 ペダルを踏まずに電源スイッチを押し、電源を『入』にします。

残量標示ランプが点灯します。



注 意

ペダルを踏みながら電源スイッチを入れると、残量ランプの右側の1灯が点滅して、ペダルアシストが働かない場合があります。これは急発進を防止するための機能であり、異常ではありません。この場合は、ペダルを踏まないで、もう一度電源スイッチを入れ直してください。

4 残量表示ランプの表示状況を確認します。

残量表示ランプは下表のようにバッテリー残量の目安を4段階で表示します。

残量表示ランプの表示状況を確認し、必要なら充電してください。

バッテリー残量	残量表示ランプの表示状況	目　安
EMPTY FULL ●－●－●	残量 ● ● ●（LEDランプ3つとも点灯）	ペダルアシスト走行できます。
EMPTY FULL ●－●－○	残量 ● ● ○（LEDランプ2つ点灯）	
EMPTY FULL ●－○－○	残量 ● ○ ○（LEDランプ1つ点灯）	そろそろ充電しましょう。 バッテリー残量が残りわずかな状態です。
EMPTY FULL ○－○－○	残量 ○ ○ ○（LEDランプ消灯）	充電してください。 ペダルアシスト走行できない状態です。ペダルアシスト走行はできませんが普通の自転車として走行できます。

※残量表示ランプが消灯していく間隔は、バッテリーの状態、走りかた、道路状況などにより異なります。
走行中電池残量点灯ランプが減り、停止中に点灯表示が戻ることがありますが、故障ではありません。

お願い

お客様が実際に走行される条件と残量表示ランプの表示状況を確認し、ペダルアシスト走行できる距離の目安にしてください。
「残量表示がずれているのでは?」と感じた場合は、リフレッシュ充電を行ってください。

5 安全を確認して発進します。

①前後左右の安全を確認してから、しっかりとハンドルを握り、ペダルを踏み込み発進します。
②ペダルを踏み込むとペダルアシストが働きます。
③走行中はペダルアシストの作動音がしますが、異常ではありません。

お願い

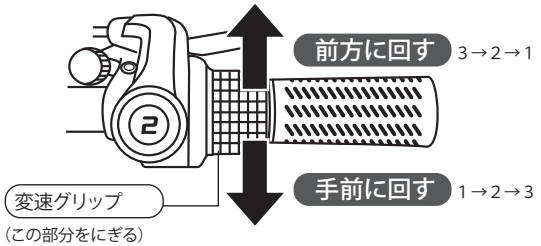
●電動アシスト自転車はペダルを踏み込むと、力強く発進しようとしますので、ご注意ください。(停車中は、ブレーキをかけてください)
坂道の手前では、ブレーキの効き具合を確認してください。
●電動アシスト自転車は普通の自転車に比べ重いため、バランスを崩し転倒によるケガのおそれがあります。空き地や人がいない安全な場所でよく　練習してから一般道路を走行してください。
●走行時に、モーターから若干ギア音が発生することがありますが、異常ではありません。
●お客様が実際に走行される条件と残量表示ランプの表示状況を確認し、　ペダルアシスト走行できる距離を把握してください。

注 意

一般の自転車に比べモーター部分が少し重くなっていますので、駐輪時のハンドルの傾きに注意してください。発進するときは、ハンドルをまっすぐにしてください。ハンドルが横向きのままペダルを強く踏み込むと、車輪駆動の特性によりバランスを崩すおそれがあります。

変速機について

〈変速のしかた〉
●変速グリップを回します。



注 意

停車中の状態では変速できませんので、変速グリップを絶対に回さないでください。回すと変速機のワイヤーが延び、変速機精度が下がり、走行中、ガタガタ音がし、変速できず故障の原因となります。また、登り坂ではチェーンの張りが強くなり変速しづらくなりますので、事前に軽いギアで走行してください。

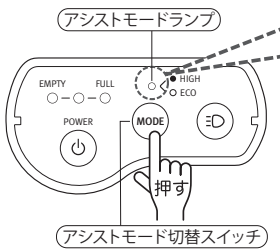
お願い

変速操作は、交通量の多くない安全な状況で、1段ずつ行ってください。

アシストモードについて

〈アシストモード「HIGH」と「ECO」の切り替えかた〉

●モード切替スイッチを押します。
押すたびにアシストモードが切り替わり、ランプで表示します。



表示ランプの説明

●「HIGH」の場合は　ランプが点灯
●「ECO」の場合は　ランプが消灯

※電源を入れたときは「ECO」にセットされています。

HIGH 上りが多いコースなど、力強い「アシスト力」で走りたい場合におすすめ

・人の力「1」に対してモーターの力が最大「2」の割合の補助力で走行します。
・「HIGH」は、「ECO」よりもペダルを心地よく回せるようにア シスト力をアップしています。このため、上り坂など力強いアシスト力が必要なときはより楽に走行できますが、電力　の消費量は多くなり走行距離は短くなります。
(「ECO」に対して約60～70%となります)

ECO 「アシスト力」を快適かつ効率良く切替えて走りたい場合におすすめ

・平地などでペダルを踏む力が少なくてもよい場合は、自動的にアシスト力を抑えて節電走行します。

お知らせ

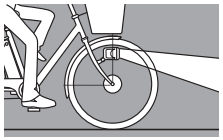
設定位置は一般的な使用例ですので、道路状況や体調などに応じて、設定位置を選択してください。

■ 乗りかた

LEDライト（前照灯）について

〈点灯のしかた〉

●ライト入/切　スイッチを押すとLEDライトが点灯・消灯状態に切替わります。
（主電源をON『❙』に電源スイッチ「入」時）
※LEDの特性でスイッチを押してから0.5秒後に点灯となります。故障ではありません。

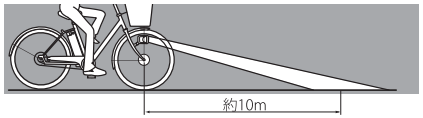


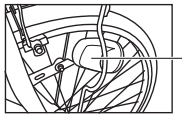
お知らせ

●LEDライトは電源スイッチが入っている時に点灯します。
●夜間にLEDライトが消灯した場合は、自転車から降りて自転車を押してください。

〈照射角度の調整〉

●自転車の前方約10mの路面を照らすように調整してください。





ヘッドケースを動かして照射角度を調節します。

オートパワーオフについて

●電源スイッチが「入」の状態で約10分間放置しておくと、バッテリーの無駄な消費を防止するため、自動的に電源が切れます。
（残量表示ランプが全て消灯）バッテリーライトも消灯します。

■ 停止、駐輪のしかた

1 自転車を停止させ、電源を切ってから自転車を降ります。

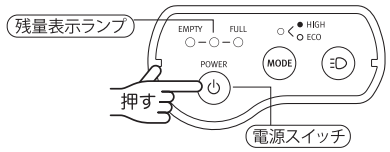
ブレーキのかけかた

後ブレーキをかけながら前ブレーキをかけてください。
※左側が後ブレーキ、右側が前ブレーキです。
※下り坂では、強くブレーキをかけっぱなしにしないで小刻みにかけてください。
※前ブレーキをかけたとき、コツコツと音がすることがありますが、性能上問題ありません。

⚠警　告	前ブレーキだけのブレーキ操作はしないでください。

電源の切りかた

電源スイッチを押し、残量表示ランプが消えたことを確認します。



2 鍵をかけます。

かけかた

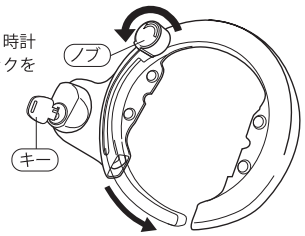
①ノブを矢印の方向に回転させ、押しながら、反時計方向に約90°「カチッ」と音がするまで回してロックします。
②キーを抜きます。

お願い

●盗難防止のため、必ず錠をかけてキーを抜いてください。
●雨ざらしになるところには駐輪しないでください。

ロックの解除

キーを差し込み、時計方向に回しロックを解除します。



3 主電源を切ります。

しばらく乗らない時は、バッテリー主電源スイッチをOFF『〇』にしてください。

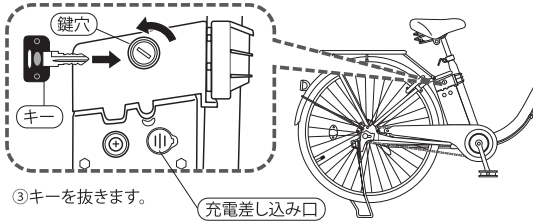
■ 充電のしかた

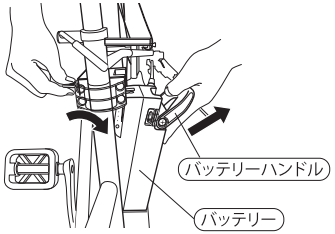
1 充電場所（下記の条件をみたすところ）を決めます。

●風通しがよく湿気の少ないところ
●平たんで安定のよいところ
●直射日光や雨つゆの当たらないところ
●周囲の温度が0℃～40℃のところ
●水のかからないところ
●幼児やペットなどがいたずらをしないところ

2 バッテリーを取り外します。

①主電源スイッチをOFF『〇』にします。
②左手でバッテリーハンドルを持ち、右手でキーを「バッテリー取りはずしキーシリンダー」に差し込み、矢印の方向に回しながら、バッテリーハンドルを持ってバッテリーをとりはずします。



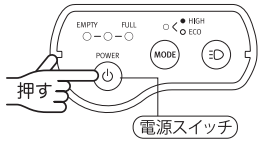


注　意

バッテリーを取り外すときに必ずバッテリーハンドルを持ちながらキーを回してください。キーを先に回すと、バッテリーが地面に落ち、割れてしまう可能性があります。

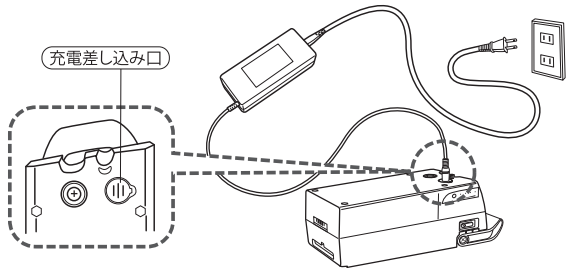
3 バッテリーを充電器に接続します。

①手元スイッチの電源ボタンを押して電源を切る。（全ランプ消灯）
＊電源を切らないでバッテリーを外すと故障の原因になります。
②充電器をバッテリーに右図のようにしっかりと奥まで差し込んでください。
③電源プラグをコンセントに差し込みます。



注　意

●**傾いた所で充電しないでください。**
バッテリーが転倒し、ケガのおそれがあります。
●**充電器をバッテリーにしっかりと奥まで差し込んでください。**
差し込みがゆるいとバッテリーが転倒し、ケガのおそれがあります。また、充電器の赤ランプが点灯せず充電できない場合もあります。
●**テレビやラジオの近くで充電しないでください。**
テレビやラジオに雑音が入る場合があります。その場合は電化製品から離れたところで充電してください。



バッテリーの充電について

(1)バッテリーは工場出荷時、充電されていませんので、ご使用になる時は充電してください。
長期保管される場合は満充電にしてください。また3ヵ月に一度充電して保管してください。
※充電しないまま長期保存すると蓄電性能が低下し、バッテリーが使用できなくなる可能性があります。
(2)バッテリーの状態や使用環境により、まれに充電できなかったり、正常に充電が完了しない場合があります。
この場合は、一度充電器のコンセントを抜き、3分以上間をおいて充電してください。
(3)●充電器にセットして充電完了しても、手元スイッチの残量ランプが4灯点灯しない。
●残量ランプが2灯または1灯点灯しているのに急にアシストが停止する。
以上の事象が発生することはまれですが、実際の電池容量に対し、残量表示のズレが生じている可能性があります。
この場合は、満充電完了後、一度バッテリーを充電器からはずし再度充電器とセットして、充電を行ってください。

■ 充電のしかた

4 充電時間の目安 通常充電

充電前のバッテリー状態や外気温などにより異なりますが、
残量表示ランプが1つになってから充電した場合。

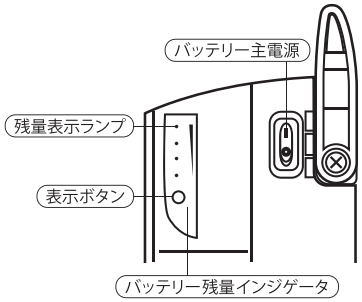
※ご購入後初回の充電は充電時間が多少長くなることがあります。

アドバイス

●バッテリー残量が残っているときは充電時間は短くなります。
●周囲の温度にもよりますが、充電開始までに1～2時間かかることがあります。

残量確認

①バッテリーの主電源を押して「ON」にします。
②残量表示ボタンを押します。
③残量表示ランプが点灯（表示時間が0.5秒程度）
※操作パネルの残量表示より細かく表示されます。
目安の残量表示と実際の残量は若干のズレがございます。



お知らせ

充電中は、充電器およびバッテリーが多少熱くなりますが、異常ではありません。

5 充電完了後、電源プラグをコンセントから抜きます。

充電器の「赤」ランプ点灯は充電中、「緑」ランプ点灯は充電完了となります。

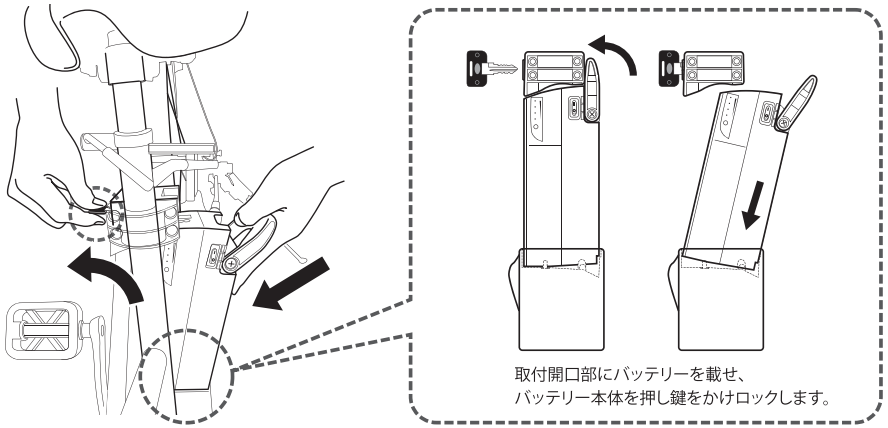
注 意

バッテリーを充電器に取り付けたまま持ち上げると、充電器がはずれて落下しケガをするおそれがあります。

6 バッテリーを取り付けます。

①バッテリー取り付け部に異物がないか確認します。
＊異物がある場合は取り除いてください。

②下図の順番で取り付け、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。



取付開口部にバッテリーを載せ、
バッテリー本体を押し鍵をかけロックします。

③キーを抜きます。

お願い

●装着後、バッテリーを手前に引いてみて、確実に装着されたことを確認してください。

■ バッテリーについて

バッテリー交換の目安 バッテリーには寿命があります。

●バッテリー交換は有料です。バッテリーの交換時期は、使用状況、充電のしかたなどにより異なりますが、新品時より著しく短く（約半分以下）なったときが交換時期です。
●バッテリー交換時期の目安
バッテリー交換時期の目安として、約600～800回の充電の繰り返しで交換時期に至る場合が多いですが、充電回数が600回未満の場合でも、ご使用や保管の条件等により、1～2年程度の使用期間で一回充電あたりの走行距離が著しく短く（新品時の約半分以下）なる場合があります。
※冬期はバッテリーの特性上、走行できる距離が短くなります。また、ペダルを強く踏み込む状態で走行する機会が多かったり、高温になる駐輪場でバッテリーを保管すると、通常より少ない充電回数や短い期間でバッテリーが消耗し、寿命となる場合があります。
※バッテリーは消耗品です。「バッテリー交換時期の目安」と保証期間は関係ありません。

●本バッテリーを廃棄するときは
不要になった本バッテリーは、貴重な資源を守るために破棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。 Li-ion

■ お手入れと保管

お手入れについて

・本体の汚れは、水を含ませ固くしぼったやわらかい布などで、きれいにふき取ってください。
・汚れのひどいときは、中性洗剤を浸した布でふき取り、乾いた布で洗剤が残らないようによくふき取ってください。

注 意

シンナーやベンジン、みがき粉、アルカリ性洗剤、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。変色、傷、変形、ヒビ割れの原因になります。

⚠ 警 告

水洗いはしないでください。雨天走行で水にぬれたときは乾いた布で拭き取ってください。浸水によって電気部品および配線の絶縁が劣化し、漏電など故障の原因になります。

アドバイス

●スポーク・ペダルシャフトなどのスチール部品は、布に防錆剤を吹きつけてふいてください。（リムはふかないでください。）
●フレームなどの金属塗装部は、汚れをふき取った後、布に少量のワックスをつけてみがきます。

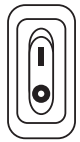
保管について

1 保管場所（下記の条件を満たすところ）を決めます。

●風通しがよく湿気の少ないところ
●平たんで安定のよいところ
●直射日光や雨つゆの当たらないところ

お願い 雨ざらしになるところは避けて保管してください。

2 バッテリーの主電源スイッチが切の「○」になっていることを確認します。



3 タイヤの空気が減っているときは、空気を入れます。

4 鍵をかけます。

盗難防止のために必ず、鍵をかけてキーを抜いてください。

お願い

●長期間（3ヵ月以上）保管されるときは、バッテリーを車体からはずし、満充電にして室内の涼しい所で保管してください。また、3ヵ月毎に充電し、再使用時は充電をしてから使用してください。
●自転車を廃棄するときは、各自治体の指示内容に従って処理してください。

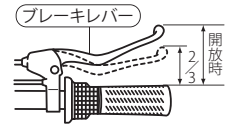
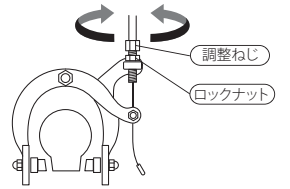
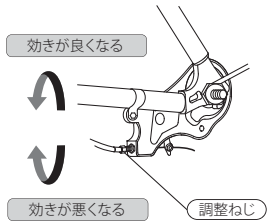
■ 故障かな?と思ったら

●次の点検をしていただき、それでもなお異常があるときは事故防止のためご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
●改造しないでください。修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。

自転車について

こんなとき	調べるところ	直しかた
ペダルが重い。	電源スイッチが「入」になっていますか。	電源スイッチを「入」にしてください。
	タイヤの空気が減っていませんか。	タイヤに空気を入れてください。
	タイヤがパンクしていませんか。	パンクはお買い上げの販売店 または自転車店に修理を依頼してください。
急な上り坂を走行中に アシストが切れペダルが 急に重たくなる。	変速機のギアが 重いギアに入っていませんか。	変速機のギアを軽いギアにしてから坂を登ってください。 急坂→１速で。
電源スイッチを押しても 残量表示ランプが点灯しない。	バッテリーが充電されていますか。	バッテリーを充電してください。
	バッテリーは確実に固定されていますか。	バッテリーの取り付け状態を確認してください。
走行出来る距離が短い。	上り坂の連続走行や発進停止の繰り返し など、高負荷運転をされていませんか。	走行条件によって、走行できる距離が短くなります。 異常ではありません。
	タイヤの空気が減っていませんか。	タイヤに空気を入れてください。
	タイヤがパンクしていませんか。	パンクはお買い上げの販売店 または自転車店に修理を依頼してください。
	長期保管されていませんでしたか。	バッテリーは自己放電しますので長期間保管すると バッテリー残量が減りますので、充電してください。
	前照灯を点灯されていますか。	前照灯を点灯した場合、走行できる距離が短くなります。 異常ではありません。

こんなとき	調べるところ	直しかた
バッテリーの 取り付けができない。	バッテリー取り付け部などに ゴミなどの異物はありませんか。	異物などを取り除いてから、バッテリーを取り付けてください。
変速できなかったり、 ガタガタ音がする。	変速機の調整ねじを 回されませんでしたか。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	停車中、グリップを回しましたか?	お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	直しかた
ブレーキの 効きが悪くなった。	①ロックナットをスパナなどでゆるめます。 ②調整ネジを回し、ブレーキレバーが開放時の 2/3の位置で効き始めるように調整します。 ③ロックナットをスパナなどで締め付けます。  前ブレーキ　後ブレーキ 効きが悪くなる　効きが良くなる   上記の調整を行ってもブレーキの効きが悪い場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

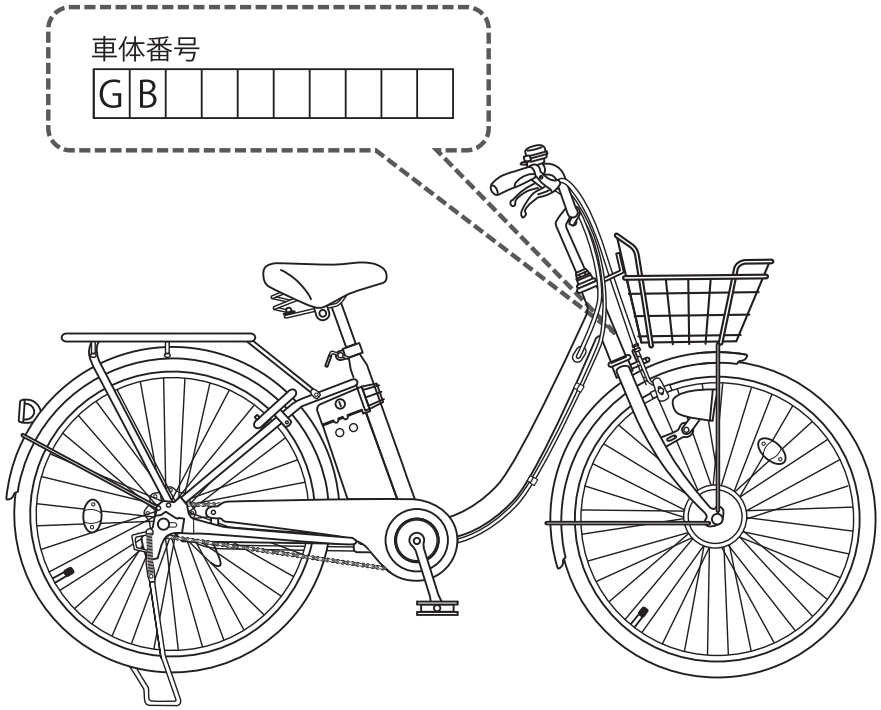
■ 故障かな?と思ったら

充電器、バッテリーについて

こんなとき		調べるところ	直しかた
充電できない	充電器の赤または緑ランプが点灯しない。	電源プラグはしっかりと差し込まれていますか。バッテリーと充電器は確実に接続されていますか。	電源プラグをしっかりと差し込み、充電器にバッテリーを確実に接続してください。
	充電器の赤または緑ランプがゆくっりと点滅をしている。	充電直後ではありませんか。	充電後すぐに充電しようとしても、充電しないことがあります。満充電からの追加の充電はしないでください。温度が下がってくると充電を開始します。
		周囲温度の高いところ(40℃以上)あるいは低いところ(0℃以下)で充電されていませんか。	バッテリーの内部温度が高いと、充電しないことがあります。涼しいところで充電してください。温度が下がってくると充電を開始します。温度が低い場合は、室内など暖かいところで充電してください。
		走行直後ではありませんか。	走行直後でバッテリーの内部温度が高いと、充電しないことがあります。温度が下がってくると充電を開始します。
充電中、異常を感じたら(異音、異臭、煙が出るなど)		――――	電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。
充電器やバッテリーが熱くなる。		手で触れられないくらい熱いですか。	充電中は多少熱く(40℃～60℃)なりますが故障ではありません。手で触れられないほど熱いときは異常です。電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 防犯登録について

●防犯登録は法律で義務付けられていますので、お買い上げの販売店または自転車用防犯登録所の看板のある自転車店にご相談ください。
　登録には車体番号が必要です。
●盗難にあった場合に捜す手掛かりになりますので、車体番号を本書に記入しておいてください。



■仕様

■取扱説明書、本体、保証書には商品の色記号を省略しています。
■包装箱に表示している記号が色記号です。

品番		amadana 電動アシスト自転車　BE-143
寸法	全長	約1,865mm
	全幅	約545mm
	サドルの高さ	760~890mm
	軸間距離	約1,180mm
タイヤサイズ		26×1 3/8
重量		約24kg
1回の充電で最大走行できる距離	当社設定パターン 停止せず連続走行（7ページ参照）	約45km
変速機形式		内装3段
前照灯		LEDライト
フレーム		スタッガード
スタンド		両立スタンド
ハンドル		アップハンドル
キャリア		あり
錠前		サークル錠
比例補助		0km/h 以上～10km/h未満
逓減補助		10km/h 以上～24km/h未満
モーター		直流ブラシレス式　　定格出力：200W
ブレーキ形式	前輪	キャリパーブレーキ
	後輪	メタルリンクブレーキ
バッテリー		リチウムイオン24V 8.8Ah
充電器	充電時間	約4時間半

※1回の充電で走行できる距離は、バッテリー新品、アシストモード「ECO」、温度20℃、無風状態、前照灯消灯、車載質量60kg（乗員および荷物を合計した質量）、標準空気圧で走行したときの距離を示します。
※型式認定：型式 TASKAL-M

■品質・性能の向上およびその他の事情により、予告なく仕様変更を行なう場合があります。
■寸法や質量等の値は、部品のばらつきや仕様変更により、5%程度の誤差が生じる場合がありますことをご了承願います。

保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は下記に記載しております。
お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は下記をご参照ください。

amadana 電動アシスト自転車　　持込修理

品番	amadana 電動アシスト自転車　BE-143	車体番号	
お客様	フリガナ お名前　　様	電話番号	（　　）　—
	ご住所　〒　—		
お買い上げ日 年　月　日		販売店名・電話番号 電話番号　（　　）　—	
保証期間（お買い上げ日から （但し、消耗部品は除く。）	本体 1年間	工事代行店名・電話番号 電話番号　（　　）　—	

見本

〈無料修理規定〉
1. 取扱説明書の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、保証書に記載の相談窓口にご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または保証書に記載の相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、保証書に記載の相談窓口にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）取扱説明書に従わない使用、（乗車定員、最大積載量等のオーバーならびに禁止事項の無視等）による故障及び損傷
（ハ）衝突、転倒、転落等の取扱いの誤りによる故障及び損傷
（ニ）自転車が一般に走行しない場所を走行された場合の故障及び損傷
（ホ）業務用（荷物運搬・新聞配達等）、営業用（レンタサイクル等）、不特定多数で使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害など、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ト）消耗部品（下記）及び消耗部品の消耗によって生じた二次的故障及び損傷

消耗部品	バッテリー・タイヤ・ブレーキゴム類（ブレーキブロック、パッド、ライニング等を含む）・油脂類・ワイヤ類

（チ）レース等の酷使による故障及び損傷
（リ）クギ、ビン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等により生じたパンク
（ヌ）本書のご提示がない場合
（ル）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. ご相談窓口はこの保証書の下記をご参照ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に体するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または保証書に記載の相談窓口にご相談ください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、保証書に記載の相談窓口にご相談ください。
※This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

株式会社リアル・フリート　〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-12-6　Tel 03-5771-0657

（株）リアル・フリート　お客様サポートセンター
フリーダイヤル　0120-161914　受付時間10:00～19:00月～金（土・日祝祭日は休み）
■携帯電話・PHSの方はこちらへ Tel 03-5771-0657　■ファクシミリでのお問い合わせ Fax 03-5771-0652